

〔海況概要〕 (令和7年 1月2日～1月8日)

今週の本県近海の表面水温は、8～20℃台を示し、やや低めから平年並みでした。

〔漁況概要〕 (令和7年 1月2日～1月8日)

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり24トンの水揚げで、前週の2倍（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり5kgの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日1統当たり5kgの水揚げ（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり28kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- 定置網――対馬東岸地区では、ブリ（ヤズ）などが1日1統当たり148kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスなどが1日当たり48kgの水揚げで、前週の69%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

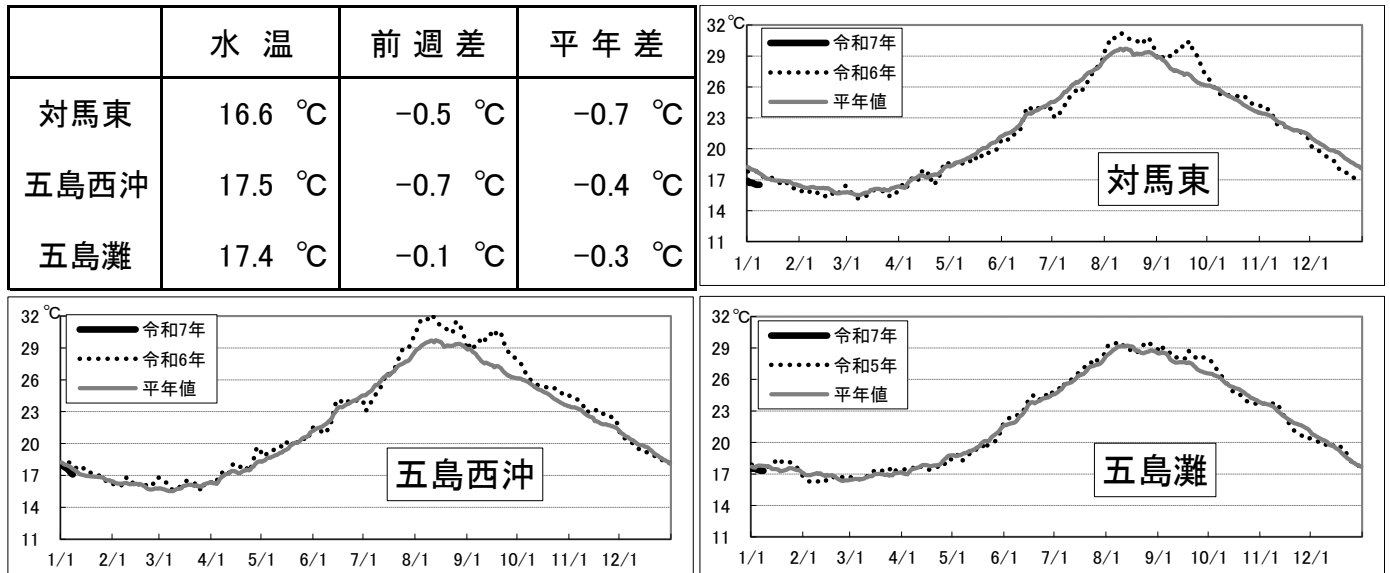
今期（12/25～1/8の15日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、荒天の為各地入港。隠岐諸島北西、佐渡北沖で操業船あり。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、博多、佐渡で水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）1日延2隻、総計36箱、1航海最高19箱、平均18箱。スルメイカ（15～20入）29箱、ヤリイカ7箱の混獲となった。（漁業情報サービスセンターより）

〔海面水温情報〕 MGDSSST（人工衛星水温） [気象庁発表] より

令和7年 1月2日～ 1月8日の平均水温

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。



※各定点は漁場図に示す（対馬東：A 五島西沖：B 五島灘：C）

※平年値は過去5年間の平均値。

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>